

北海道



にぎわい

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信 Vol. 242



世界津波の日 2019 高校生サミット

奥尻島 事前学習&スタディツアー

北海道奥尻町

9月10、11日に札幌市の道立総合体育センター（北海きたえーる）で『世界津波の日』2019 高校生サミット in 北海道」が開催されました。

開催に先立ち8月6～8日、サミットに参加する道内高校生53名による事前学習ツアーが奥尻島で開催され、奥尻島津波館では、北海道南西沖地震（1993年）で甚大な被災を受けた当時の状況を学び、奥尻津波語りべ隊の方から、防災フットパス（青苗岬めぐりコース）を歩きながら災害後の復旧等について説明を受けました。ツアー終盤には、奥尻町主催による夕食レセプションが開催され、参加者は食事を取りながら交流を深めました。

9月7～9日には、サミットの一環として、海外の高校生約80名によるスタディツアーが奥尻島で開催され、参加者は、津波による甚大な被害を受けた町内青苗地区に移動後、惨禍を伝える「奥尻島津波館」や慰霊碑の「時空翔」で、地元高校生から説明を受けました。

札幌で開催されたサミットでは、国内68校、海外43カ国から約400人の高校生が参加、奥尻高と江差高の生徒が英語でスピーチし「津波の悲劇を数時間前に起こったことのように話す人が今もいる。忘れてはならない災害だ」と訴えました。

なお、「世界津波の日」2019 高校生サミット in 北海道の報告書は北海道のHP（下記URL参照）でご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/kss/index.htm>



9月7日 事前学習ツアー
夕食レセプションの様子



9月7日 スタディツアーの様子